

# 朝霧

11月号

【発行】平成29年11月8日

御嵩町教育センター

可児郡御嵩町御嵩1239-1

TEL (0574) 67-2111 FAX (0574) 67-1902

E-mail m-kngnkk@town.mitake.lg.jp

ホームページ <http://www.town.mitake.gifu.jp/kouiku/center/center-top.html>



## 「宝物」との出会い

御嵩町教育センター所長

梅田 幸秀

先日、私用であるご家庭にお邪魔した際、偶然、部屋の片隅に高く積まれたノートに目が留まりました。話をお聞きすると、子どもさんが小学校1年生から中学校3年生まで書き続けた日記帳とのことでした。2センチ程の大きな枡から始まり横罫のみのノートになるまで、それこそ絵とたどたどしい平仮名ばかりのページから、漢字も適度に使われ、大人っぽい文字への変化も表れ始めたページまで、9年間の日記の継続に大変感動し、思わず手に取り読ませていただきました。

「この子の成長の過程が詰まっていると思うと、始末することができなくて。」と言いながら、「今振り返ると、日記は私が強制して始めさせたのですが、この子は毎日書くことを通して、文字を覚えるのと一緒に、多くのことを学んでいたと思います。息子と私の宝物です。」としみじみ語られるお母さんの言葉に大変な重みを感じました。

子どもたちの成長にとり「書くこと」の大切さは、昔から言われてきました。学習指導要領が改訂されるたび、学力調査の結果が出されるたび、作文力の弱さはずっと指摘され続けてきました。しかし、なかなか子どもたちの力になる実践が継続されてこなかったように思います。そこには、子どもたちが文章を書くことに抵抗を持っていること、その抵抗が年々強まっていること、個人差が大きいこと、構想から記述・推敲までの指導に時間がかかること、作品の事後指導に手間暇がかかることなどなど考えられます。学習指導要領改訂をひかえ、改めて、子どもたちへの書くことの指導を考える時だと思

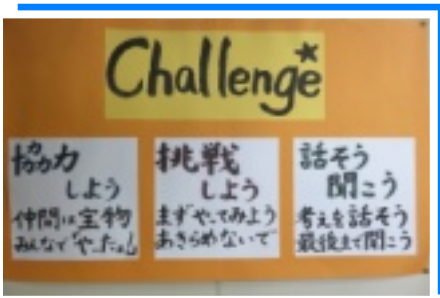
います。

「書くこと」により、いったい子どもたちにどんな力が育つのでしょうか。一つは、作文力です。自分の思いを、目的に応じて、適切な言葉を選び、正しい文法にのっとり、まとまった文章にする力です。もう一つは、内省力です。自分の周りの「もの」「こと」「人」に接することを通してそれらを見つめ、認識していく。そして、それが自分のものの見方、考え方となり、自分や自分の身の回りを見つめる力＝内省力へとつながっていきます。今、仲間関係が未熟で、自分中心的な考え方になり、諸課題が増えている子どもたちの現状からも、特にこの内省力をつけることは、とても大切なことだと考えます。内省力は、大人になるための不可欠な力だからです。

強烈な視覚的・聴覚的刺激に毎日振り回されている子どもたちにとって、あえてこの地道な「書くこと」への取組が必要なのではないのでしょうか。小学校低学年からの日記指導、テーマ作文など、改めて見直してみたいものです。手間がかかり教師の仕事が増えてしまいますが、その子どもたちの作文力が身につく、伝え合う力が育ちます。また、内面が育ち、結果的に落ち着いた心の成長を望むことができると思います。

「継続こそ、力なり。」この9年間の日記帳との出会いは、是非大事にしたい今後の実践方向を教えてください。貴重な「宝物」でした。





## I'm enjoying challenging with you!

上之郷中学校 教諭 可児 芳恵

今年は、私にとって中学校の教師デビューの年となりました。これまでの9年間、2地区3校の小学校で勤務する中、関わった子どもたちや保護者、先生方から本当にたくさんのことを学びました。少しだけ慣れてきたところで、念願の中学校勤務が上之郷中学校で実現したのです。

デビューは、1年生の担任、そして英語と体育を教えることです。中学校初めての私と、中学校に入学してきた13人の生徒たち。同じ状況ということで、学級開きでは、

「challenge（挑戦しよう）」

という話をしました。また、英語については専門教科ではありますが、久しぶりでやはりchallengeです。子どもたちに向けたメッセージであり、私自身が大切にしたいことでもありました。



先日、体育大会がありました。学年種目として大縄の一斉跳びを行いました。1年生のみんなにとって初めての一斉跳びです。全校の練習の前に、一度やってみる機会を持ちました。すると、1回も跳ぶことができません。

次の日から朝練習に取り組みました。「1、2、3、4、5。ちょっと、今ひっかかったの誰!？」と、仲間を責めようとする言葉が飛んできました。一方、「次はもっと高く跳んで、10回目指そう!」という言葉も聞こえてきました。

30回という目標に向けて練習を重ね、臨んだ当日。5分間の持ち時間のうち、ひっかかっても何度も跳び直し、最後まで挑戦し続けました。結果、連続記録29回。0回からスタートしたことを考えると、確実に成長している自分たちに達成感を抱きつつ、目標の30回に1回届かなかった悔しさは残りました。しかし、大縄をきっかけに、自分たちの学校生活をより高めたいという意欲と、学級の課題を見つけることができました。

新しいことを始める時は、勇気が必要だと思います。しかし、まずやってみて、うまく行かなかったら、課題を明確にして再challengeして。そうしているうちに始めた頃より随分上達している。そのことに気づくと、うれしい!、challenge（挑戦）することの楽しさというか、面白さというか、そういう前向きな気持ちを生徒の姿から学びました。

私は上之郷中学校の職員や素晴らしい生徒に恵まれていることをとてもうれしく思っています。初めてのことがたくさんあり、戸惑い、うまく行かないこともあります。そんな時、周りの先生方が的確なアドバイスをくださったり、私なりのやり方を受け入れてくださったりしていただけます。「次もがんばろう!」というchallenge精神を大切に、上之郷中学校で頑張りたいと思っています。





## 『ミニ研修』で学んだこと

伏見小学校教諭

若宮 奈美

『ゆとりですがなにか』、昨年度放送されたドラマの題名です。学生時代にゆとり教育を受けてきたゆとり世代の男性三人が、世間から厳しい眼差しにさらされながらも懸命に生きていく姿が描かれている作品です。私はこのドラマを毎週楽しみにしていました。なぜなら私も「ゆとり世代」の一人だからです。

私が教員になった5年前、「ついに平成生まれが教員になる時代がきたか。」と同僚の先生に驚かれました。今、教育現場は私のように若い教員が多く、伏見小学校でも学級担任の約半数が経験年数10年未満です。

本校では、若い教員を対象とした「ミニ研修」という研修が位置付けられており、今年度私はミニ研修の担当になりました。ミニ研修は主任会の時間に並行して行います。昨年度までのミニ研修は、ミニ研修担当教員が、自身の教育実践を伝え若い教員の学びを広げ、深めるという研修方法でした。しかし、経験が浅い私には今までと同じ研修方法を行っていく自信がありませんでした。そこで、若い教員同士で授業を見合い、授業後に研究会を行うという研修方法をとることにしました。

スリム化が提唱されている今、教員の負担になるような研修にはしたくないと思いました。ミニ研修のメンバーに相談し、「指導案はなしにしてはどうか。」「授業後（放課後）の研究会を30分と決めると良い。」「特別なことはせずに、普段と変わらない授業を見せる。」という意見をもらうことができました。“指導案なし”には、正直戸惑いがありましたが、校長先生に相談したところ「先生達の研修なので、先生達で決めていいですよ。」とっていただいたので、思い切って指導案はなしにすることにしました。『指導案なしで、普段と変わらない授業をする』という新しいスタイルの研修方

法で、私たちは想像していた以上にたくさんの学びを得ることができました。

授業後の研究会では、学校の授業研究会では聞きにくいような、経験が浅いからこそ出る疑問を、自由にぶつけることができました。特別な準備をしていないからこそ、「これだったら明日から自分のクラスで取り入れることができそうだ。」と感じることが多くありました。また、時間が余った時には「朝読書で読む本ってどんな種類が良いのかな。」「給食配膳が速くなるための工夫って何かしてる？」など、日頃学級経営で悩んでいることを相談することもできました。時には弱音をはいたり、時には励まし合ったり、時にはご飯を食べに行く約束をしたり。そんなミニ研修の時間は、私にとって心の支えとなり、明日からの仕事の活力にもなっています。

日頃の悩みが相談し合え、支え合える同僚がいることは本当に幸せなことだと思います。自分の周りには素敵な仲間がたくさんいるということ、その仲間がいるから頑張ることができるということを忘れずに、目の前の子ども達にも仲間の大切さを伝えていきたいです。







## 教師の「本気」は子どもの「本気」

上之郷小学校教諭 布目 義雄

上之郷小の運動会に向けた職員会議で、担当者から、スローガンは「本気」「協力」と提案されたのを受けて、私はまず教師自らが本気の姿を見せ、子どもに負けないようにしようと、体育の授業を始めとして「本気」で関わる決意をしました。

例えば、朝の会で「ゴーゴーゴー」を歌う時、わたしはいつも子どもより大きな声で「もっと」「まだまだ」、「手の上げ方、口の開き方がいいね。」と応援しました。ある日、全校練習で歌った時、子どもたちのこれまで見たことのない真剣な表情に、はっとさせられました。と同時に毎日本気で取り組むことで、子どもたちの本気度は、さらに高まることに気付かされました。

教師が本気を出して関われば、子どもはそれに必ず応えてくれる。それは、授業でも同じです。講師だった時、研究授業を行ったことがあります。子どもたちに少しでもわかる授業をしたいと思い、具体物、指導案、板書計画を考え、何度も何度も学年の先生方に相談したり、模擬授業を見ていただいたりしました。本番に向けたある授業で、時間内に終わることができず、子どもたちにあやまると、「先生はいつも本気だから、あやまらなくていいよ。僕たちもがんばるよ。」という答えが返ってきました。子どもの励ましの声を聞きながら「何としてでも、もっと上手な授業をしたい。子どもたちのためにもっと努力したい。」と心の中で叫びながら、涙したことを覚えています。

私は、今、担任している子どもたちが運動会で培った「本気」の根幹をさらに太くするために、何としてでも授業力を「本気」で身に付け、共に成長していける教師であり続けたいと、日々努力しています。



## 調査・研究会

10/ 13(金) 御嵩小/向陽中ペア研 実施  
(御嵩小/ 原 圭吾 先生・小5/外国語活動)

10/ 20(金) 御嵩小/向陽中ペア研 実施  
(向陽中/ 岩田 綾香 先生・中3/英語)

11/ 2(木) 伏見小/共和中ペア研 実施  
(共和中/ 大本 直人 先生・中1/社会)

11/ 8(水) 上之郷小/上之郷中ペア研 実施  
(上之郷中/ 可児 芳恵 先生・中1/英語)



6名の先生方(町内の学校から各1名)が、研究テーマについて調査・研究を進め、10月以降はペア研の研究授業と全体研を実施しています。公開授業ですので、時間の都合がございましたら、ぜひご参観ください。

### 指導者

11/ 15(水) 上之郷小/上之郷中ペア研 (13:55~14:40 公開授業) 共和中学校教頭 森 直樹 先生  
(上之郷小/ 桑下 みちよ 先生・小2/算数)  
★「かけ算の九九(6の段)」

11/ 16(木) 伏見小/共和中ペア研 (14:00~14:45 公開授業) 上之郷小学校教諭 桑下みちよ先生  
(伏見小/ 石橋 弘匡 先生・小2/算数)  
★「かけ算の九九(6・7の段)」



## 学校運営支援室紹介

学校運営支援室・伏見小学校主任

酒向 稔

「御嵩町学校運営支援室」は発足後、6年目となりました。業務内容については、たよりの「きゅめーる」で随時お知らせしていますが、今回はその一つである帳簿点検について紹介します。

### 1 現在の出勤簿

10年以上前までは、毎日出勤したら出勤簿に各自が押印していましたが、現在は電子処理となり、出勤日には「出勤」の文字が毎日自動で入る仕組みとなっています。

|    |            |            |            |            |
|----|------------|------------|------------|------------|
| 8月 | 1 出勤       | 2 出勤<br>前年 | 3 出勤<br>前年 | 4 出勤<br>後年 |
|    | 17 出勤<br>出 | 18 年休      | 19 土       | 20 日       |

それ以外の「年休」（年次休暇）、「出」（出張）等は、各職員より提出された関係書類（年次休暇簿、復命書等）を見て事務職員が、オンラインで一つ一つデータを入力しています。

### 2 業務としての帳簿点検

一校で年間に何百件もの年休届・出張等があるため、出勤簿に100%正確にデータを入力し続けることは難しいことです。しかし、公金である各種手当・旅費に関わる場合があるので、間違えるわけにはいきません。

各校の事務職員だけでは限界があることから、支援室では出勤簿および関係書類を対象とした帳簿点検を行っています。今年度は、定例の支援室会議日に各校より前月分の帳簿を持ち寄り、3人一組のグループで点検を行う方式を採っています。個人情報の記載もある帳簿は、本来なら他校職員の分を見ることはできません。しかし、御嵩町の小中学校の事務職員は、岐阜県教育委員会より人事異動通知で学校間連携及び協力のため、町内他校への兼務を命じられているので、帳簿点検が業務として可能となっているのです。

### 3 帳簿点検の方法

左上の写真は帳簿点検の様子です。一人で静かに点検をしているわけではありません。

例えば出張関係の帳簿を点検する場合は、①「出張伺・復命書」の読み上げ担当が、『8月3日、夏季研修講座、御嵩町役場、自家用車運転、同乗〇〇先生、学校（出発地）、学校（帰着地）』と読み上げ、②旅費請求書の担当が請求内容を確認、③出勤簿の担当が8月3日の欄に「出」があるかを確認します。もし、間違いが見つければ付箋を貼ります。他の帳簿も含めるとグループ内の3校分で2時間近くかかります。やや単調で辛い作業ですが、複数の目で点検できるので思わぬミスを発見できます。また、点検中に生じた疑問点は、その場で話し合い、解決することができます。

帳簿点検は、支援室が目指す「学校事務の標準化」（どの学校でも一定水準以上の質の高い事務を提供する）の手段の一つです。連携することで、さらに業務を確実かつ速やかに行うべく、意欲的に研究を進めています。ご意見・ご要望等あればお知らせください。



御嵩町  
学校運営支援室

きゅめーる

御嵩町全体をひとつの学校として、事務作業を共同で行うことで、地域全体の学校事務を安定させています。さらに、知識の共有や技術の連携による効率化を図り、教員が児童生徒と向き合う時間の確保や、学校経営全般に係る支援を行うことで、子どもたちの豊かな育ちを実現する学校教育の充実を目指しています。また学校教職員に向けて、情報を発信している広報誌「きゅめーる」の名前は、江戸時代に伏見に来た「らくだ（キャメル）」と「メール」をあわせてできました。

## 挑戦しない者に成功はない

御嵩小学校6年 原 滉和



「ああ、失敗してしまった。」  
ぼくは、この失敗のくやしさと、  
六年生の一学期が終わった。今は、  
夏休みに入り、あの失敗を克服し  
ようと、毎日のピアノ練習に励ん  
でいる。

ピアノはともだち  
奇跡のピアニスト  
辻井信行の秘密

こうやま のりお/著  
講談社/発行

そう、ぼくの失敗とは、校歌の  
ピアノ伴奏のことだ。御嵩小学校  
の校歌は、四拍子の中に、途中で  
三拍子が入るといふ複雑な構成に  
なっている。ぼくは、今年の夏に  
校歌の研究をしてから、練習を続けてきた。難しいからこそ、弾けるようになるととても楽しく、うれしくなってくる。忘れないように、毎日ピアノの練習をするときには、一回は校歌を弾くようにしてきた。それなのに、終業式の日、汗で指がすべり、弾く鍵盤を間違えてしまった。

辻井さんは、目が見えない。それなのに、どんな小さな音の変化も表現し、演奏中に間違った鍵盤をたたく、ということではなく、鍵盤に置く指の位置もくわなかったそうだ。

「すごいな。どんな練習をするのだろう。」

「演奏するときは、ドキドキしないのかな。」

たくさんの疑問が、ぼくの中で生まれた。

辻井さんは、新しい曲に挑戦するとき、いい曲だなと思えば、「難しい」ことは考えずに、耳で音をとりながら演奏を始める。ここは、ぼくと同じだ。ぼくは、新しい楽譜をもらおうと、譜読みで音の一つずつ読んでいく。音が一つずつつながって、メロディーになり、弾けるようになってくると、わくわくしてくる。素敵な曲を速く弾けるようになりたいという気持ちがいっぱいになり、「難しい」かどうかなんて、考えない。曲を仕上げていく楽しみ、美しいメロディを奏でる喜び。曲を仕上げていくときには、いろいろな情景を心に浮かべていく。夏祭りの花火、友達の笑顔、見たこと経験したことを曲におり込んでいく。これも楽しい作業の一つだ。

読み進めているうちに、新たな疑問が生まれた。ぼくだって、辻井さんと同じように努力している。それなのに、なぜぼくは失敗してしまったのだろう。辻井さんにとって、ぼくにないもの。それは、「心の眼」だ。辻井さんは、目が見えない。その分、お母さんの実況解説で花火を見たり、夕日の美しさを感じたりするそうだ。音を聞いたり、手で触った感触を確かめたり、香りをかいだりして、体全体でその美しさを感じ取っている。こういう感覚が、辻井さんの演奏を創り上げているのだ。

ぼくは辻井さんよりたくさんものを見てきている。しかし、本当に見てきたのだろうか。これからは、もっ

と周りの人に優しくなりたい。言われることを素直に受け止めたい。ぼくを支えてくれるすべての人に感謝し、何事にもチャレンジしていきたい。そうして「心の眼」を育てていこうと思う。二学期の始業式での校歌の伴奏、今から楽しみになってきた。辻井さんに、ぼくの演奏が届くといいな。

## 「どんなかんじかな」をよんで

上之郷小学校1年 日比野 夢羽



どんなかんじかな

中山 千夏/著  
自由国民社/発行

このほんは、めがみえない、みみがきこえない、おとうさんやおかあさんがしんじやったこやうごけないくるまいすのこたちのきもちを「どんなかんじかなあ」とかんがえられるほんです。

めがみえないこは、たくさんのおとがきこえるとかいてありました。だから、わたしもおかあさんに、めかくしをしてもらいました。めがみえないと、まっくらであるけません。みんなのかおもわかりません。だけど、いろいろなおとがきこえてきました。みんなのうごくおとがきこえました。

みみがきこえないこは、たくさんのもでみるようになるそうです。だから、わたしもみみせんをしてみました。きこえないから、はなしをするときは、あいてのくちをみて、はなししていることばをかんがえました。だから、みんなのことをいつもよりたくさんみることができました。

おとうさんとおかあさんのしんじやったこのきもちもかんがえました。こどもだけでごはんはつくれないから、たべることができません。こわいことから、まもってくれるひとがいけません。かんがえてもかんがえても、さみしいきもちしかわかりませんでした。

わたしは、めがみえます。みみもきこえます。おとうさんとおかあさんもいます。だけど、わたしは、おおきなおとがこわいです。たくさんのおとがきこえすぎてしまいます。とおくでなっているきゅうきゅうしゃのさいれんのおともきこえます。でもおかあさんが、「みみがいいから、うたがじょうずだね。」

といってくれました。たくさんのおとがきこえるって、よいところもたくさんあるんだってわかりました。わたしは、うたうことがだいすきになりました。

「どんなきもちかな。」とかんがえているのは、くるまいすにのったこです。うごけないけど、たくさんのかんがえていました。わたしも、ひとのきもちをかんがえて、みんなのよいところをみつけたいです。





川内 弘行副市長  
吉田 幸樹副市長に授賞

◆御嵩町子どもの笑顔づくり条例の取組◆  
「笑顔づくり標語」1, 258作品の特選・入選作品

特選

- 小6 御嵩小 尾崎 優希さん 優しい言葉 あなたの笑顔で 元気100倍
- 中3 上之郷中 金子 奈央さん 話すのは 画面ではなく 相手の目

入選

- 小1 伏見小 浅野 美紅さん えがおで おはよう いちにちげんき
- 小2 御嵩小 生駒 昊明さん チクチク言葉にストップボタン いわふわ言葉にスタートボタン
- 小3 御嵩小 森永 あみさん キラキラと かかやく え顔で いじめなし
- 小4 御嵩小 日比 麻瑠さん 教室の どあを開ければ えがおの輪
- 小5 上之郷小 今村 美優さん (スマイル) すてきな笑顔 まい日 いつでも ルンルンルン
- 小6 伏見小 中邑 舞桜さん 町中に あふれる笑顔 うれしいね
- 中1 向陽中 佐野 水咲さん (えがお) 笑顔はね 頑張る心の 応援団
- 中2 共和中 藤井 玄太さん 向き合おう 自分の気持ち 相手の気持ち
- 中3 向陽中 高知 涼可さん 君が言う 「どうしたんだ」に 救われる



「税に関する作品」 習字

- 御嵩町長賞 開田 一輝さん(御嵩小6年)
- 御嵩町教育長賞 笹川 菜那さん(伏見小4年)
- 金賞 渡辺 真央さん(上之郷小6年)
- 銀賞 武山 理央さん(伏見小4年)
- 銅賞 澤田そよかさん(伏見小6年)
- 佳作 山田 陽優さん(上之郷小6年)
- 市原 理菜さん(御嵩小5年)
- 上野 心花さん(伏見小6年)



歯・口の健康に関する絵画・ポスターコンクール

岐阜新聞・岐阜放送賞

- 林 穂乃花さん(御嵩小3年)
- 入選 吉野 颯希さん(御嵩小1年)



火災予防ポスターコンクール

- 金賞 山本 彩華さん(御嵩小6年)
- 銀賞 西村 祐歩さん(御嵩小4年)
- 銅賞 玄蕃 航さん(共和中3年)

可成地区中学生「ものづくり」作品コンテスト

- 優秀賞 佐々木一真さん(向陽中1年)

「名鉄広見線利用促進啓発ポスター」

名鉄広見線活性化協議会長賞

- 籠橋 幸樹さん(御嵩小2年) 後藤 彩心さん(伏見小4年)
- 宮田 桃花さん(伏見小6年)

「鉄道の日」中部実行委員会賞

- 杉浦うららさん(御嵩小1年) 武山 理央さん(伏見小4年)
- 吉田姫良里さん(伏見小6年)

入賞

- 奥村 幹太さん(伏見小1年) 生駒 昊明さん(御嵩小2年)
- 小栗 颯介さん(御嵩小2年) 木村 椿月さん(御嵩小2年)
- 高屋 柊太さん(御嵩小3年) 渡辺 峻典さん(上之郷小4年)
- 大久保諒俊さん(御嵩小4年) 小栗 紗和さん(伏見小4年)
- 上田 夏希さん(伏見小6年) 上野 心花さん(伏見小6年)
- 鍵谷 娃綺さん(伏見小6年) 中邑 舞桜さん(伏見小6年)



秋季可成地区ソフトテニス大会 9/30、10/7

1年の部

- 女子ダブルス 2位 林 里湖さん 藤田 葉名さん(共和中1年)
- 女子シングルス2位 藤田 葉名さん(共和中1年)
- 3位 林 里湖さん(共和中1年)

選手権の部

- 女子ダブルス 優勝 岡野紅香乃さん 赤塚 有紗さん(向陽中2年)
- 3位 青山陽菜乃さん 伊藤 友菜さん(共和中2年)
- 男子ダブルス 2位 伊藤 優佑さん 藤掛起志斗さん(向陽中2年)
- 3位 生駒 大翔さん 亀谷 尚央さん(向陽中2年)
- 女子シングルス優勝 岡野紅香乃さん(向陽中2年)
- 男子シングルス2位 藤掛起志斗さん(向陽中2年)

# 文化財探訪

No.36



## パワーアップ研修

10/2(木)に行った「パワーアップ研修会」は、「教科指導にかかわる研修」でした。基本的な指導過程について、また授業の腕を上げるポイントとして、課題や発問、発言指導、見届けと机間指導、教材・教具、板書計画など、具体的な内容について研修しました。



次回は、1月11日(木)です。本年度の最終回となります。

不登校児童生徒を始め、支援を要する児童生徒や家庭との連携について研修します。中公民館を会場として、御嵩町適応支援教室「オアシス教室」の見学と、室長さんのお話を位置づけました。先生方などでも当日参加できます。

## 巡回図書へのリクエスト

教育センターでは、センターの蔵書を気軽に先生方に利用いただけるように、ボックスに入れて各学校を巡回しています。本年度も「御嵩町学校運営支援室」から、購入本のリクエストをいただきました。先生方も、「この本が読みたい」「この本はお薦め！」というご希望を、センターまでお知らせください。



## 国指定重要文化財(願興寺本堂)をみんなの力で守ろう その3

### 【本堂の大修理について】

平成29年11月より、約9年にも及ぶ願興寺本堂の全解体修理が始まります。修理には多額の費用を要し、現段階では総事業費約13億円との試算が出ています。国・県・町からの補助金を受けながら事業を実施いたしますが、事業主体である願興寺の負担額は1億円ほどと見込んでいます。



### 【願興寺への直接寄付について】

- ・ 寄附金にお名前・ご住所を添えて、郵送またはご持参ください。
- ・ 口座振込の場合は、下記の口座へお願いします。  
十六銀行 御嵩支店 普通 1306465  
(口座名義) 本堂修復宗教法人願興寺

### 【指定寄付金について】

税制上の優遇措置を受けることができる指定寄付金の募集期間を、平成30年度とします。現在、指定寄付金にご協力いただける皆様の署名をお願いしています。4月以降に、指定寄付金のご案内を郵送いたします。

| 日  | 曜 | 行事  | 日  | 曜 | 行事  |
|----|---|---|----|---|---|
| 1  | 水 | 上小 個人懇談(~2日) 上中3年 三者懇談(~2日)<br>向中3年 三者懇談・1/2年 教育相談(~2日)       | 16 | 木 | 伏小 調査・研究会ベア研<br>上中/共中 期末テスト(~17日)             |
| 2  | 木 | 共中 調査・研究会ベア研  | 17 | 金 |   |
| 3  | 金 | 文化の日  | 18 | 土 | 上中/弁当の日・芸術鑑賞会・異校研修説明会<br>御嵩町音楽会               |
| 4  | 土 | 向中・KCV・なかせんどうふーく  | 19 | 日 |   |
| 5  | 日 | 共中・芸術鑑賞会・手作り弁当の日<br>向中・KCV予備日<br>津波防災の日                       | 20 | 月 | 伏小 教育相談(~22日) 上中 振替休業日<br>向中 創立70周年記念式典       |
| 6  | 月 | 上小 ぼうさいかみのごう<br>御小/向中 ノーメディアデー(~14日)                          | 21 | 火 | 上小 放課後子ども教室・小規模特認校学校見学<br>オアシス教室カウンセリング日      |
| 7  | 火 | 上小 放課後子ども教室・小規模特認校学校見学<br>共中 教育相談(~15日) オアシス教室カウンセリング日        | 22 | 水 | 上小 全校集会(人権)                                   |
| 8  | 水 | 上中 御嵩町小中学校拡大交流会・調査・研究会ベア研<br>伏小5年 宿泊研修(~9日)                   | 23 | 木 | 勤労感謝の日  |
| 9  | 木 | 上小 修学旅行(~10日) 御小 家庭教育学級研修<br>伏小/共中 家庭学習強化週間(~17日) 共中 スッキリ週間   | 24 | 金 | 伏小 振替休業日(10/28音楽会分) 御小/向中 小中交流会<br>上中/共中 人権集会 |
| 10 | 金 | 教育センター推進委員会   | 25 | 土 | 上小/上中 資源回収・岐阜県PTA研究大会                         |
| 11 | 土 | 共中・家庭教育学級<br>状況公民館文化祭(~12日)                                   | 26 | 日 | 上之郷公民館まつり 上小 資源回収予備日                          |
| 12 | 日 |   | 27 | 月 | 向中 お弁当の日 共中1年 薬物乱用防止講座                        |
| 13 | 月 | 上小 小規模特認校学校見学 上中 教育相談(~15日)<br>向中 期末テスト(~14日) 共中 振替休業日(11/5分) | 28 | 火 | 上中 命の授業 共中 三者懇談(~12/1)<br>オアシス教室カウンセリング日      |
| 14 | 火 | 上小/上中 家庭教育学級 向中3年 科学講演会<br>オアシス教室スタッフ会議                       | 29 | 水 | 御小5年 宿泊研修(~30日) 上中 三者懇談(~12/1)                |
| 15 | 水 | 伏小/共中 ノーメディアデー(共中~17日)<br>上小 調査・研究会ベア研                        | 30 | 木 | 上小 観劇会・授業参観・懇談会 向中 三者懇談(~12/6)                |

